

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
国内では、高齢社会と人口減少が急速に進行しており、各自治体はその課題克服に向けた取り組みが求められる中であって、各部政策推進室との政策調整を行い各部局が一体となった統一的意思形成を図るとともに、総合政策機能を活かしたまちづくりを進める。 市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。	1. 第4次京田辺市総合計画の策定	・現行「まちづくりプラン」の計画期間がH31年度までとなっていることから、京田辺市総合計画条例に基づき、第4次京田辺市総合計画(基本構想、まちづくりプラン)を策定する。	・H30年度は、市民等へのアンケート調査、現行計画の総括及び総合計画審議会等の開催により、基本構想の検討を行う。		・基本構想の策定に向け、総合計画審議会及び庁内検討会議を開催した。 ・市民アンケート及び中学生アンケート調査を実施し、分析を行うとともに、市民ワークショップを開催し、まちづくりについて議論を深めた。 ・基本構想のパブリックコメントを実施した。	A	
	2. 自転車を活用した地域づくり推進事業	・ツアー・オブ・ジャパンの開催や自転車を楽しめる取組を推進するとともに、開催地としての愛着や誇り、新たな自転車の聖地「京田辺市」を目指すことを目的とする。	・関係機関、地元と協議調整を行いレース実施に向けた体制準備を整える。 ・ホームチームと連携した自転車教室等を開催する。 ・サイクリングマップのリニューアルを行いPR活動を行う。	63	・京都府、精華町をはじめ、関係機関や地元住民の協力のもと、5月21日にツアー・オブ・ジャパン京都ステージを開催した。 ・自転車教室やサイクリングイベント、サイクリングマップのリニューアル、サイクリスト・観光向けの情報発信アプリの開発等を実施し、自転車を活用した地域づくりを推進した。	A	
	3. まちづくりプラン(重点プロジェクト)、地方創生総合戦略の推進	・「まちづくりプラン(重点プロジェクト)」及び「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく諸施策を推進し、今後予想される人口減少と少子高齢化に対応する。	・国の地方創生関連の交付金の活用や重点事業の進行管理により、諸施策を推進する。		・夏期にサマーレビューを実施し、まちづくりプラン(重点プロジェクト)を着実かつ計画的に実行するため、課題整理・検討を行った。 ・市内の企業支援や文化振興、お茶の京都関連事業など、地方創生推進交付金の採択を受けた事業について、それぞれの実施計画に基づく取組を実施し、総合戦略を推進した。	A	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊼ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4. 北陸新幹線PR事業の推進	・北陸新幹線の早期建設を実現し、開業効果を発揮させるため、PR活動を通じ、機運醸成や政府への要望活動を通して、国の鉄道整備関係予算の確保を促す。	・今後設立予定の建設促進同盟会を通じて、政府への要望活動や決起大会など建設促進に係る活動を展開する。 ・京都府立田辺高等学校と連携し、同校鉄道研究部が実施する北陸新幹線をモチーフにした「ミニ鉄道運行」を活用し、機運醸成を図るためのPR活動を実施する。	52	・建設促進同盟会設立に向け、京都府と情報共有を行った。 ・京都府立田辺高等学校と連携し、同校鉄道研究部が実施する「ミニ鉄道運行」を活用し、「クローバー祭」等で北陸新幹線のPR活動を実施した。	A	
	5. 市政情報の積極的な発信	・広報等を通じ、市の施策について積極的に提供することで、市の将来展望を市民と共有していく。 ・まちの魅力を発信することで、市民のまちへの愛着やまちづくりへの意識、市民としての誇りと一体感を向上させる。	・広報紙等の発行 ・SNSの活用(Twitter、Facebook)によりリアルタイムに情報を発信する。 ・記者會及び他のメディアへの情報提供を行う。 ・主要施策・事業の成果の取りまとめ及び情報発信を行う。		・広報紙発行＝22回 ・Facebook(Twitter)への投稿＝691件(うち動画投稿116件) ・メディアへの情報提供＝395件 ・主要事業の実施状況調査に基づいた広報計画の作成と、広報紙・SNS等での事業進捗・成果のPR	A	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】